

【大学紹介】

プラスαの学び～京都医療科学大学より～ 海外交流事業のご紹介

学外交流委員会 講師 霜村康平(短 11 回生)

国際交流活動の概要

本学では、在学生在が視野を広げ、成長をサポートするために国際交流活動に力を入れております。

2013 年から台湾の元培醫事科技大學でのサマースクール参加、2016 年からベトナムのチョーライ病院での研修、2023 年からは同国フエ医科薬科大学との相互交流を開始いたしました。本稿では、コロナ禍以前よりも活発となった台湾及びベトナムにおける国際交流についてご紹介をさせていただきます。

台湾研修

台湾研修では、本学の前身であるレントゲン技術専修学校の卒業生である蔡 炳坤氏(13 回生)が創設した台湾で初の診療放射線技師養成校である元培醫事科技大學にて研修を受けます。キャンパスは非常に広く、健康科学に関する多くの学科があり、様々な学科から本学学生と国際交流を希望した学生が、キャンパス内の寮にて共に過ごし、中国語講座、病院見学、観光など研修全般をサポートしてくれます。たった 1 週間の滞在でさえ、別れ際に涙し合う彼らに、測ることのできない成果が感じられ、この事業へのやりがいを与えてくれます。昨年度は創設者の御息女である蔡 雅賢理事長が創立記念館を自ら案内していただき、さらには、展示用に分解された CT 装置や撮影機器を学生に元培醫事科技大學の卒業生であり現台湾放射線技師会会長の社氏から説明があり、丁寧なおもてなしをいただきました。今年、創立 60 周年記念を迎える元培醫事科技大學との 9 回目の台湾研修となります。本学 100 周年を迎える 2027 年は両大学の交流協定 60 周年でもあり、更なる発展と交流を続けたいと思います。

ベトナム研修

ベトナム研修では、人口 1,000 万人の大都市ホーチミンにある国立三大病院の一つで南部の基幹的役割を果たすチョーライ病院にて、病院研修及び同病院に従事される診療放射線技師の方々との交流を 2016 年より開始しました。チョーライ病院は本学と古くから縁があり、1969 年から 7 年間に渡り卒業生の井上泰治氏(43 回生)と川辺広治氏(44 回生)が JICA の技術支援として訪越し、2005 年からの滋賀県診療放射線技師会と JICA の提携によるチョーライ病院への技術支援に携わった松尾教授との繋がりがあります。本学諸先輩方の築かれた関係から、学生に対して非常に親切かつ細やかに現地では接していただき、安心して研修を受けさせていただいております。国際的な視野を広げることも大切な本研修の目的ですが、本学をはじめこれまで海外で活動してきた日本人の功績を肌で感じられる機会にもなっております。研修では、本格的な診療行為の補助をするため、貴重な経験をいただいております。2023 年からは、ベトナム中部にあるフエ医科薬科大学との相互交流が開始され、春は本学学生が訪越し、夏はフエ医科薬科大学の学生が来日し、交流を開始しました。それぞれの国で、両国の文化、医療に加えて教育カリキュラムの違いなどについてディスカッションを交えて、学びを深めています。

国際交流事業は、島津奨学金によるサポートにて相互交流にかかる費用のサポートに、学友会をはじめとしてご支援いただき建設された本学 C 棟のラーニングコモンズや実験室、そして 2 年前に建て替えていただいたあづまやでバーベキューを国際交流の場として、利用させていただいております。とても素晴らしい環境にて国際交流ができております。末筆ではございますが、日頃からいただく多大なるご支援に感謝申し上げます。

以上